

塩尻総合学科新校 校地選定について（案）

校地検討会議

1 校地検討会議のまとめ

新校の校地は、塩尻志学館高等学校の校地を活用する。

2 校地選定の基本的な考え方

- (1) 現行校地の活用を原則とする。
- (2) 原則として校地の併用は検討しない。

3 校地選定に至った主な理由

新校が目指す学びのイメージである「地域を学びのフィールドとして、地域との共創を目指す学校」「多様な経験、学び、人との出会いを通して一人ひとりの可能性を広げられる学校」を実現することがより期待できる環境であるため、塩尻志学館高等学校の校地を活用することが適切であると考えられる。

- (1) 近隣に多くの学校、公共施設があり、他校の児童・生徒や地域の人との交流がしやすく、相互の施設利用ができる地理的条件が整っている。
- (2) 敷地が広いため、新しい学びの環境を整えるためのスペースが十分にある。
- (3) 多様な学びの選択肢を提供するための環境として、施設や農地を有効に活用することができる。
- (4) 交通の要所に位置し、駅からのアクセスが良い。
- (5) 田川高等学校の校地と比較して地震の影響を受けにくく、安全面の不安が小さい。